

第3回アメリカ研修報告（6日目）

富山中部高等学校

7月8日（金）、研修6日目は昨日に引き続き曇り模様。天気予報では雨にはならないようなので、本日予定されているハーバードキンパスツアーは暑すぎず過ごしやすい環境下で実施出来そうです。

いよいよ本日で最後となった英語クラスですが、後半は今週で卒業する中部生の farewell ceremony を兼ねて全クラス合同で行われました。他国からの留学生も含め生徒達のプレゼンテーション形式で実施され、ボストンについて、今週最も印象に残った出来事、創作した物語などをグループ毎に発表したり、中部生の中には自分の得意なこと、英語に対する思いをプレゼンし、拍手をもらう生徒もいました。

最後は1つのクラスが'See you again'を全員で歌い締めくくりました。日本の生活に戻った後でも、この曲を聞けばボストンの研修をまざまざと思い出す1曲になったのではないのでしょうか。



フェアウェルでのクラス



フェアウェルでのプレゼン

午後はハーバード大学に出かけ、ゲストとしてハーバード大学院生の田中秀宣さんにお越し頂きました。田中さんは京都大学卒業後、東京大学 物理工学科 修士課程からハーバードへ編入し、現在研究者として活躍されています。

まずはキャンパスツアーを実施頂いた後に、質疑応答の座談会の時間を頂きました。日に日に士気を上げてきた生徒からは予定していた時間を超えてたくさんの質問があがりましたが、田中さんは物腰柔らかく丁寧に答えて下さいました。



ジョンハーバード象（工事中）の前で集合写真

その中で、自分の強みや個性が何なのか分からないという生徒からの言葉に対し、まずは自分のアンテナが反応するものや興味を大切にしてもらいたい。好きなことを大切にしていこうと取り組むことで、それがあなたの強みや個性になる、といった考え方や、仮に受験や就職が思い通りにいかなかったとしても、それによってあなた自身の価値が変わることはない。だから失敗を恐れず、より高い目標を目指して欲しい、といった生徒達の背中を押す言葉をたくさん頂き、ハーバード大学を後にしました。



ハーバード田中さんとの座談会

ハーバードで学ぶなど、雲の上の出来事と思っていた生徒も多いと思います。しかし今回の田中さんとの交流を経て、自身のキャリアとしてイメージできた生徒も少なくないと思います。日本の大学からの奨学金の話など、田中さん曰く「ほとんどの日本人が知らない」こともお話頂き、有意義な時間を生徒達が創り上げたと思います。



ハーバード田中さんとのキャンパスツアー

夕食のカフェテリアやEvening Activityでも、残り2日しかないボストンでの時間を惜しむように積極的に交流を図っていました。最初は英語を使うことに集中していた生徒たちも会話を楽しむことにシフト出来ており、笑顔も多く見られます。

研修8日目になり、チームとしての認識、自分以外の仲間への責任を認識するようになり、それが行動に表れてきています。チームとしての結束が日に日に強くなってきていることを感じます。明日でボストン生活を終えニューヨークへ向かいます。個人としても、チームとしても後悔することなく走り抜けて欲しいと願います。